Oriental Land Co.,Ltd.

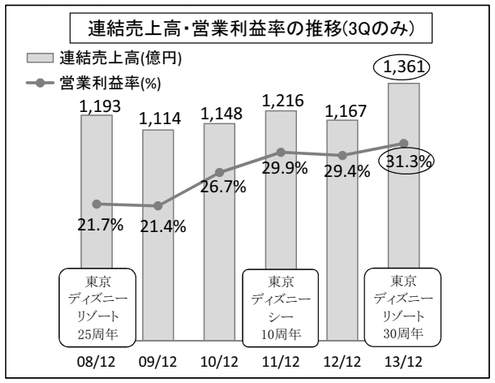
2014年1月30日
株式会社オリエンタルランド

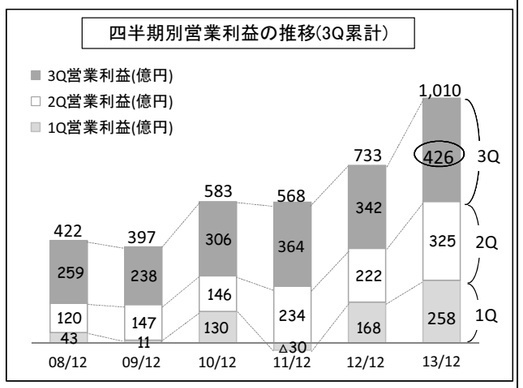
2014年3月期 第3四半期決算 補足資料

四半期連結損益計算書（第3四半期累計実績／前年同期）

科目	前年同期	百分比	当累計期間	百分比	増減（△印減）	増減比	
	（百万円）	（%）	（百万円）	（%）	（百万円）	（%）	
Ⅰ．売上高	305,118	100.0	366,222	100.0	61,103	20.0	A
テーマパーク事業	254,891	83.5	303,298	82.8	48,406	19.0	①
ホテル事業	37,677	12.4	49,613	13.6	11,936	31.7	②
その他の事業	12,550	4.1	13,310	3.6	760	6.1	③
Ⅱ．売上原価	196,600	64.4	222,836	60.8	26,235	13.3	
人件費	50,249		53,394		3,144		
諸経費	123,261		146,084		22,823		
減価償却費	23,089		23,357		267		
売上総利益	108,517	35.6	143,385	39.2	34,867	32.1	
Ⅲ．販売費及び一般管理費	35,144	11.6	42,308	11.6	7,163	20.4	
人件費	13,415		16,269		2,853		
諸経費	17,745		21,886		4,141		
減価償却費	3,983		4,152		168		
営業利益	73,373	24.0	101,076	27.6	27,703	37.8	B
テーマパーク事業	61,559	20.2	85,745	23.4	24,185	39.3	④
ホテル事業	10,691	3.5	13,763	3.8	3,071	28.7	⑤
その他の事業	1,011	0.3	1,443	0.4	431	42.7	⑥
（消去又は全社）	110	0.0	125	0.0	14	13.4	
Ⅳ．営業外収益	1,584	0.5	1,967	0.5	383	24.2	
Ⅴ．営業外費用	1,626	0.5	2,766	0.7	1,140	70.1	
経常利益	73,331	24.0	100,278	27.4	26,946	36.7	C
税金等調整前四半期純利益	73,331	24.0	100,278	27.4	26,946	36.7	
法人税等	26,463	8.6	37,262	10.2	10,799	40.8	
四半期純利益	46,868	15.4	63,015	17.2	16,146	34.5	D

【参考】第3四半期（10～12月）





売上高は1,361億円と大幅に増加、これに伴い営業利益率は31.3%、営業利益は426億円といずれも過去最高

四半期連結損益計算書（第3四半期累計実績／前年同期）

【A．売上高 611億円の増（20.0%増）】

(1)売上高の状況　（単位：百万円）

項目	前年同期	当累計期間	増減	増減比	主な増減要因
① テーマパーク事業	254,891	303,298	48,406	19.0%	
アトラクション・ショー収入	110,828	127,979	17,150	15.5%	東京ディズニーリゾート30周年イベントなどによる増
商品販売収入	92,664	114,975	22,311	24.1%	
飲食販売収入	48,477	56,440	7,962	16.4%	
その他の収入	2,920	3,902	982	33.6%	
② ホテル事業	37,677	49,613	11,936	31.7%	
東京ディズニーランドホテル	11,786	13,170	1,383	11.7%	東京ディズニーリゾート30周年イベントなどによる客室稼働率の増
東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ	12,966	13,204	237	1.8%	
ディズニーアンバサダーホテル	9,922	11,714	1,791	18.1%	ブライトンホテルの取得による増
パーム&ファウンテンテラスホテル	3,000	3,726	726	24.2%	
その他	－	7,797	7,797	－	
③ その他の事業	12,550	13,310	760	6.1%	
イクスピアリ事業	6,501	6,543	41	0.6%	モノレール事業などの増
モノレール事業	2,870	3,207	336	11.7%	
その他	3,178	3,560	381	12.0%	

(2)テーマパーク関連情報［前年同期差異］

項目	前年同期差異	主な増減要因
入園者数	上回った	東京ディズニーリゾート30周年イベントの好調などにより過去最高 －ハピネス・イズ・ヒア、スター・ツアーズリニューアルなどの奏功 －30周年という大きな節目を迎えたことによる来園動機の増加 －雨天日が少なかったことや国内旅行・レジャー需要の高まりも影響
ゲスト１人当たり売上高	上回った	第3四半期累計で過去最高
チケット収入	上回った	チケット構成比の変化などによる増
商品販売収入	上回った	東京ディズニーリゾート30周年関連商品の好調
飲食販売収入	若干上回った	東京ディズニーリゾート30周年関連メニューの好調

(3)ホテル関連情報［前年同期差異］

項目	東京ディズニーランドホテル	東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ	ディズニーアンバサダーホテル	パーム&ファウンテンテラスホテル
客室稼働率	上回った	ほぼ同様	上回った	上回った
平均客室単価	ほぼ同様	若干上回った	若干上回った	ほぼ同様

【B．営業利益 277億円の増（37.8%増）】

（単位：百万円）

項目	前年同期	当累計期間	増減	主な増減要因
④ テーマパーク事業	61,559	85,745	24,185	・売上高の増 ・人件費（準社員労働時間など）の増(△31億円) ・固定経費・諸経費（東京ディズニーリゾート30周年関連コストなど）の増(△23億円)
⑤ ホテル事業	10,691	13,763	3,071	・東京ディズニーリゾート30周年イベントなどによる客室稼働率の増
⑥ その他の事業	1,011	1,443	431	・モノレール事業の増(売上高の増)

【C．経常利益 269億円の増（36.7%増）】

Ⅴ．営業外費用 11億円の増
・デットアサンプションの実行による社債償還損　△13億円

【D．四半期純利益 161億円の増（34.5%増）】

【総括】

１．第3四半期（累計）決算について

(1) 対前年同期：東京ディズニーリゾート30周年イベントなどにより、売上高・各利益は過去最高

・テーマパーク事業は、東京ディズニーリゾート30周年イベントが好調に推移したことなどから、入園者数およびゲスト1人当たり売上高が増加し、大幅な増収増益となった。
・ホテル事業は、テーマパーク入園者数の増加に伴い客室稼働率が増加したことなどから増収増益となった。

(2) 対10月発表予想：テーマパーク事業の好調により業績予想を上回った

・テーマパーク事業は、東京ディズニーリゾート30周年イベントの好調により入園者数が予想を若干上回ったことなどから増収増益となった。なお、第4四半期への費用の時期ずれは約10億円であった。
・ホテル事業およびその他の事業は、ほぼ予想通りとなった。

２．通期業績予想について

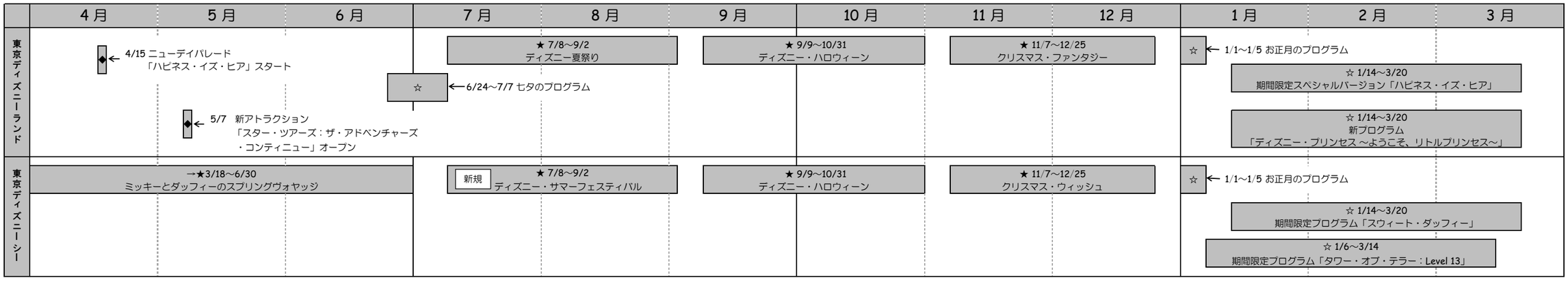
・上記の通り、第3四半期は10月発表予想を上回って推移したものの、第4四半期におけるテーマパーク入園者数に対する天候リスクなどを踏まえ、現時点では、通期の業績予想を据え置くこととする。

Oriental Land Co.,Ltd.

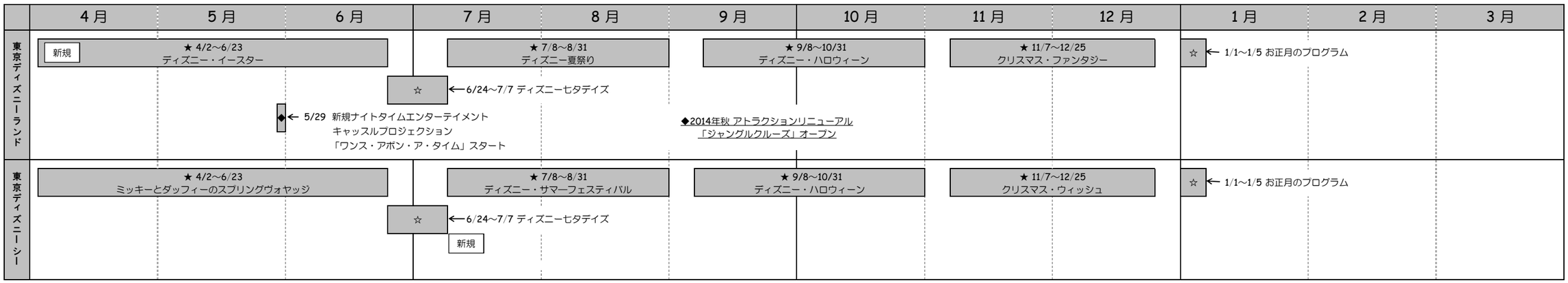
2014年1月30日
株式会社オリエンタルランド

2014年3月期 第3四半期決算 補足資料

2014年3月期 テーマパーク スペシャルイベント・新規アトラクション カレンダー



2015年3月期 テーマパーク スペシャルイベント・新規アトラクション カレンダー



★：スペシャルイベント　☆：プログラム　◆：新アトラクション・ショーなど

※イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合がございます。
※2014年1月30日時点で公表しているものを記載